

ワークショップの開催について

開催の主旨

立地適正化計画の策定に向け、今後は都市機能誘導区域、居住誘導区域の設定とともに誘導施設や誘導施策の検討を行っていくことになります。

そこで、市民や学生の方々が長久手市でどのような暮らしをしたいか、どのような時間を過ごしたか等を伺いながら、拠点形成にあたって必要な施設や歩いて暮らしやすいまちエリアを形成するにあたって必要な施設や取り組みなどについて議論するワークショップを開催します。

ワークショップの概要

テーマごとにワークショップを2回ずつ開催することを基本とします。

①歩いて暮らせるまちづくりワークショップ	
テーマ	歩いて暮らせるまちエリアづくりについて話し合おう！
対象	旧長湫西部土地区画整理地区内の居住者等
開催時期	5月・6月（計2回）
内容	・市内で最も早く土地区画整理事業が施行され、今後、先駆けて高齢化や施設の老朽化が進行することが想定されるエリアを対象に、実際に暮らしている人たちが考える、身近な課題等の抽出を行います。 ・抽出した身近な課題等から、どのような暮らしをしたいかを踏まえながら、歩いて暮らせるまちエリアの必要機能の検討を行います。また、歩いて暮らせるまちエリアづくりに向けた取組についても検討し、本地区が他地区の将来形と考え、WSでの成果を他地区での参考となるよう整理します。

②公園まちづくりワークショップ	
テーマ	杣ヶ池公園とその周辺で過ごしたくなるまちづくりについて話し合おう！
対象	長久手市民、学生等
開催時期	5月・6月（計2回）
内容	・拠点に位置づけられているリニモ杣ヶ池公園駅周辺を対象に拠点にふさわしいまちづくりを考えます。 ・特に市街化区域内に立地する公園の中で最も大きい公園である杣ヶ池公園を活かしたまちづくりを進めるため、公園でどんなことがしたいか、どのように過ごしたいか（そこをフィールドとして住民が自分たちで何ができるか）を踏まえながら、公園の魅力を活かした拠点形成について話し合います。